

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

同友

12²⁰²³月号

vol.689

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU

特集

“同友会の第一歩” 新会員フォローアップセミナーの役割

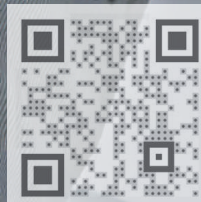
福岡県中小企業家同友会

 広報情報部
Facebook

21世紀型
自立型
企業づくり

希望の光を ～夢を持ち、挑戦し続ける～

いしうち まさもり
石内 雅盛 氏 (株式会社 レイオブホープ)



[デザインQR]

特集 “同友会の第一歩”

新会員フォローアップセミナーの役割

すでに190回以上開催されている新会員フォローアップセミナー。
今回はその立ち上げと現在の役割などを伺いました。

文：南 史聡（未来文書株式会社／西支部）



初代委員長
白石 静馬 氏
株式会社テシマ（南支部）



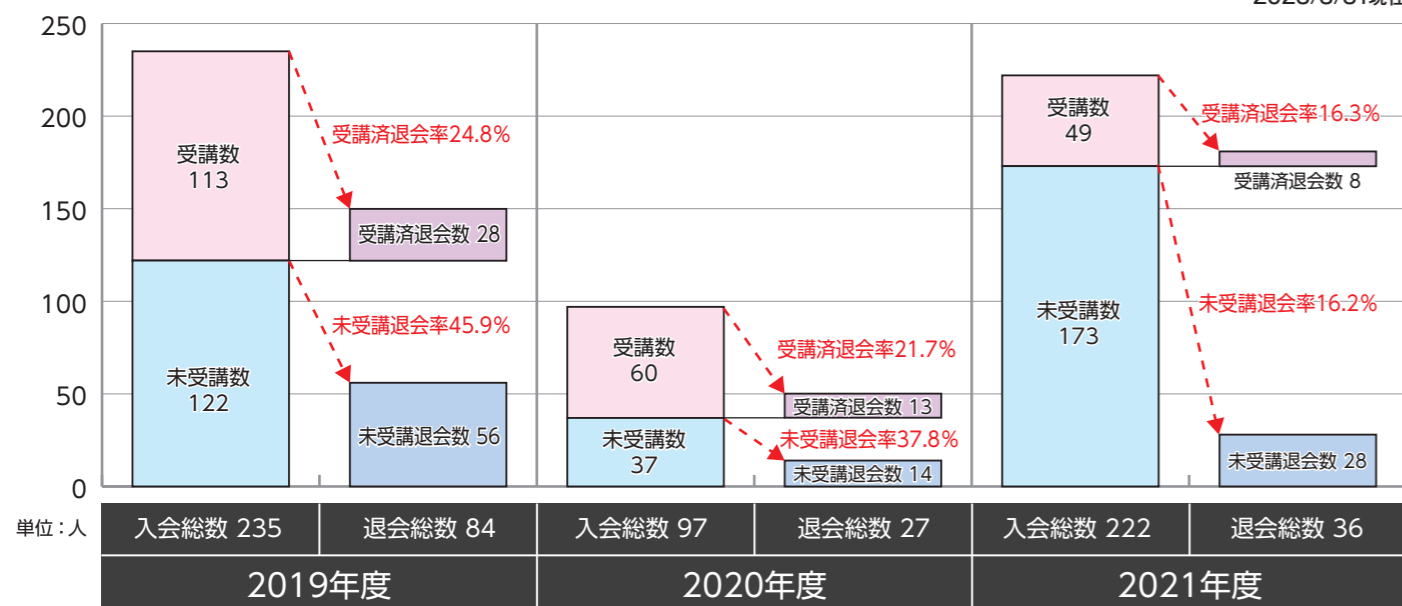
部長
松井 竜介 氏
陽なた法律事務所（南支部）



副部長
右寺 武志 氏
株式会社トンカチ（南支部）

新会員フォローアップセミナー受講と退会について

2023/3/31現在



- 新会員フォローアップセミナーを受講された会員は未受講会員と比べ退会率が低いです。
- 2020年度・2021年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で受講率が下がりましたが、2021年度の受講者の退会率はコロナ前より低くなっています。

※受講対象者を入会后1年としています。入会後まだ1年を経過していない会員がいる2022、2023年度入会は外しています。

同友会 3つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

今月の表紙

私が石内さんを紹介します！



株式会社水城自動車
代表取締役
平山 芳光（筑紫支部）



株式会社レイオプホープ
代表取締役
石内 雅盛氏（筑紫支部）

詳しくは本誌7ページへ

筑紫支部の石内さんは、支部の中でも数少ない同級生です。石内さんとの出会いは12、13年前になります。支部で私が報告をさせていただいた時にゲストとして来られていたのが初めての出会いでした。中学校が隣の学校だと知り、昔はよくケンカするほど仲の悪い関係だったので、思い出話で盛り上がったこともあり、そういう事もあり、石内さんとは話が合い、距離が縮まるのも早かったような気がします。

見た目から、初めはチャラそうな人だと思っていました。一緒に同友会運動をやっていく中で、とてもリーダーシップのある人だと思いました。支部長をされていた時には常に先頭に立ち、皆を引っ張って行く力と、責任感を持ち行動する姿に魅了されました。そして株式会社レイオプホープの代表者としても、障がい者の方を雇用し、障がい者の方が自立して働ける環境を目指して頑張っておられます。私も自宅の庭の草取りなどを定期的にお願いでありますが、仕事が綺麗でピカイチです。障がい者の方々も生き生きとお仕事をされている姿を見るとこちらも元気をもらいます。これからの未来、活躍が楽しみな経営者の一人です。

撮影後記



株式会社レイオプホープの石内さんをお訪ねいたしました。障がい者就労支援をサポートする会社を営んでいる方です。地域に根差した事業、賃貸管理物件の定期清掃業務を主な仕事として営んでおられます。障がいを持った人の1人ひとりに合わせた働き方を模索しながら日々の活動を実践されておられます。企業理念「私たちは誰もが自立し地域の中で幸せに暮らしていける社会の実現に貢献します」に基づいて経営に取り組んでおられる石内社長です。取材のご協力ありがとうございました。

撮影・文／株式会社コスイメージ 富谷 正弘（玄海支部）

“デザインQR”とは？

月刊同友675号より、表紙・自立型企業づくり・アンケートは、絵柄付きのQRコードを採用しています。スマートフォン等で読み取る場合は、従来の白黒QRコードと同じアプリを使って読み込むことができます。※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

まず、新会員フォローアップセミナーの立ち上げの経緯を教えてください。

白石 立ち上げは2002年なのですが、その頃は2年以内に退会される会員が多く、なかなか同友会に定着しないという課題がありました。ほとんど紹介での入会ですから、お付き合いが入会して、2年くらいでそろそろ退会してもいいだろうと思われていた方が多かったのかもしれない。

いずれにせよ同友会の理念も組織も知らずに退会されるのはもったいないことで、同友会のことをもっと知って



支部に参加してほしいということ、今はまた支部ごとに役割をお願いしています。

松井 役割を受けてくれた支部の負担を減らすためにマニュアルを作って、受付でも司会でもすぐにできるようにして、できるだけ新会員のフォローに注力できるように工夫しています。

白石 同期会もいつからか作られましたね。何期かは忘れましたが、私も筑紫野の温泉に呼ばれて同期会をやりました。



小さな変革を大きなうねりに
同友会と共に
輝く未来を



2003年 中同協定時総会のポスター

もらうということでは始めました。

初めは特別委員会という形で、当時は土曜日の昼から、閉会が21時くらいでした。それで、2年目から常設委員会になって今に至ります。

印象に残っているのは、2003年7月の中同協の定時総会ですね。福岡の新しい会員定着の取り組みとして、第3分科会で新会員フォローアップセミナーの活動を報告しました。1年前からプレを行い、いろいろ指摘されながら話を組み立てて、当日は80名以上の参加者があって、全国に取り組みを発信することができましたね。

ちなみに体験報告も手分けしているのですか？

松井 第1講では、まずは「同友会と自社経営」があります。これは、同友会で学んできた同友会理念を自社でどう生かしているのかの報告をしていただいています。メンバーは、正副代表理事会議のメンバーにお願いをしています。そしてその報告者と同じ支部から、体験報告者を出してもらっています。経営指針の重要性については、経営労働委員会より持ち回りで報告者を出してもらっています。

新型コロナの時期はどのような運営をされていましたか？

松井 あのとときは確か開催できなかったのが1回あったくらいで、ずっと続けていました。完全にZoomだけという時もありましたが、もっぱらハイブリッドで、今でも続けています。

右寺 やはり他支部との交流という意味では、県南や筑豊などなかなか遠方で参加できない方も含め、できるだけ県全体で交流できるようにしたいですね。皆さんZoomでもどんどん参加してほしいですね。ハイブリッドと

第3分科会
新たな挑戦!会員定着対策、福岡での試み
～企業発展の基をつくる～
“新会員フォローアップセミナー”
会員定着対策について、県全体として検討しフォローすることを確認。毎月第3土曜(13:00～21:00)にセミナー開催。新会員が入会後1年以内に100%参加をめざす。同友会を伝えるだけでなく、経営指針作りなど新会員へのプレゼントとしての内容作りをしている。現在卒業生が300名を越えている。

白石 静馬氏
福岡同友会 新会員フォローアップ特別委員会委員長・理事
代表取締役
資本金:1,000万円
従業員数:6人
設立:1986年 年商:1,000万円
業種:レストラン、外食工事、アパレル事業



というのは今後も変わらないでしょうね。

最近の参加率はどのくらいですか？

松井 これはもう支部長の方針になるだろうと思うのですが、基本的には新会員のリストがあって、このリストの方に声をかけていただきたいと支部長にお願いをしています。毎月新しい会員さんが入りますから0にはなりません。最近のリストが減って、積極的に参加していただいている実感はあります。

右寺 参加者もそうなのですが、会員

そういえば土曜日にやっていたでしたね。今はどんな形でやっているのですか？

松井 今は毎月第4木曜日に年10回のペースで開催しています。タイムスケジュールはほとんど変わっていませんから、立ち上げ当時から完成されていたことが分かりますね。

特徴的な取り組みとして他社紹介がありますが、これも初めからされていたのですか？

白石 最初はちょっと覚えていないけれど、早いうちから始めていましたよ。あと、みんなで円になって、順番に隣の人を褒める、なんてこともやりました。やはり参加者に会社が良いなってほしいという思いがあって、退会しないようにいろいろ考えたんだと思います。当時は支部長が参加したり、支部ごとや地区ごとに役割を振って、みんなで参加していましたね。

右寺 私が参加したところはフォローアップ部会が中心になって役割分担をしていたのですが、できればいろんな皆さんに応援に来ていただきたいという思いはありますね。

松井 やはり新会員さんは何も分からずに知らない人ばかりで怖いし寂しいですよ。そんなときに、同じ支部の支部長なり役員をお持ちの方が一緒にいれば心強いと思います。そちらの方が議論も活性化するし、他支部の方との交流も活発になりますよ。

右寺 この時に共通の時間を作ると、そのあとも声をかけやすくなりますよね。自分(新会員)がわからないことがあったときに、声をかけやすい人がいると、支部の例会やブロック会の参加にもつながりやすくなると思います。
松井 できれば、自分が新会員のときに応援に来てくれたから、自分も新会員の応援に行つてあげようという恩送りも体験してほしいですね。

右寺 最近支部の応援の方も良く来てくれていることを実感していますから、良い傾向になっていると思います。

今後の方針などはありますか？

松井 実はZoomで始めたときに他社紹介ができなくて、しばらく自己紹介をやっていたのですが、今年になって、

新会員さんをフォローすることで
学びになったり、恩送りの機会になったり、
県全体で盛り上がるような形になればいい。



座談会の様子

「昔は他己紹介があつてもよろかつたよね」という声があつて、もう一度復活させようとして、ここ2回くらいやっています。新会員さんも良かったと言ってくれますので、これは続けたいですね。
右寺 今のところ、Zoomだと他己紹介ができない組がありますから、これを何とかするのが課題ですね。現地だと勢いや雰囲気できてしまいますけど、Zoomだとそうはいきませんから。
松井 もう一つは、会場を使つての懇親

会を復活させたいですね。ケータリングでも持ち込みでもいいのですが、会場のテーブルにちよつとしたものを並べての懇親会なら新会員さんも参加しやすいと思いますし、親睦も深まるのではないかと思います。来年度は企画したいですね。
右寺 私はアンケートを実施したいですね。実際のところ、新会員フォローアップセミナーってそれほど認知されていないような気がするんですね。行ったけれど、それが新会員フォローアップセミナーという認識をしていないのではないかといいことですね。他己紹介はおもしろかつたけれど、何を勉強したのかわからないという声があれば、それをフィードバックでもらつて、もっと良いセミナーにできるような仕組みが作れば良いと思います。
松井 新会員フォローアップセミナーに行く前と行った後で、どのような変化があつたのかなど知ることができたらおもしろいですね。
右寺 実際、一回聞いたただだと理解もできないと思いますけど、一回聞いておけば、そのあと何かの機会と同じことを聞いたときに、そういうえば何か

聞いたなという意識をしてもらうだけで良いと思います。
松井 応援に来てくれた方も、新会員さんをフォローすることで学びになったり、恩送りの機会になったり、新会員さんをフォローすることで、県全体で盛り上がるような形になればいいと思います。
それで、実は今期からあいさつ文を作つて冒頭にお話するようにしています。「新会員は会の宝」だとありますが、新会員さんが入らないと組織として成り立ちませんし、会員数が減つていったら新たな学びもないわけですから、そこを僕たちがしっかりと意識して、新会員さんがいることで同友会が成り立っているのだということを再確認してほしいと思います。
右寺 単に研修本部のセミナーということであれば、極端な話、応援はいらないわけですよ。でもそこに応援会員がいなければいけない理由があつて、それが大切なことだなと気づかされま

すね。
南 貴重なお話、ありがとうございます。

希望の光を 夢を持ち、挑戦し続ける



突然の解散通告

今回の取材は、筑紫野市で福祉の仕事に携わる(株)レイオプホープの石内雅盛さんをお訪ねしました。まず、会社設立までの経緯をお伺いしました。

昭和30年代、大手飲料メーカーM社のグループ会社の九州生産拠点が筑紫野市にありました。祖父の傳太郎さんは、その子会社D社で物流業を営んでいました。面倒見のいい人で精神障がいを持つ人を雇用していました。父親の傳七さんもそのあとを引き継ぎました。

石内雅盛さんは昭和50年筑紫野市で石内家の次男として生まれます。高校時代は野球部に属し、2年生の時に春の甲子園に出ています。「将来はプロ野球選手か、祖父や父みたいに会社の社長になりたいと考えていました」。実際には短大卒業後、流通会社に就職し、長

株式会社レイオプホープ 代表取締役

石内 雅盛 氏
【筑紫支部】

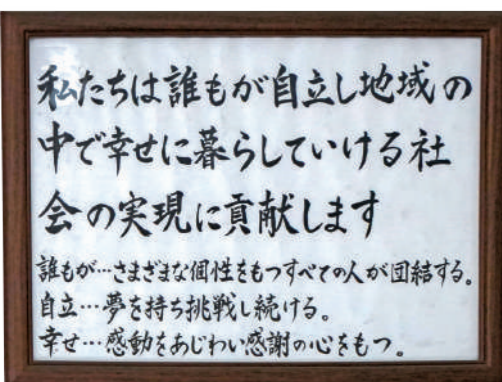
業にも上がる思いで『福祉業界』に飛び込んだ石内雅盛さん。支部長経験で組織運営に関する様々なものが見えてきたのでした。

取材／広報部
文章／菅原 弘(東支部)
写真／富谷正弘(玄海支部)



男も独自に会社に就職していました。父親から「帰つて来い」の一言で、後継者として入社したのでした。

しかし平成23年2月、突然親会社が生産拠点を熊本工場と統合することを発表し、筑紫野市の会社は1年後に解散することを通告してきました。



経営理念

「寝耳に水でした。当時結婚して家を建てたばかりでした。親会社の就職支援・斡旋で十数名いた社員は新しい就職先に就くことができたが、私と6人の障がいを抱えた人たちが取り残された状態になってしまいました」と当時を振り返ります。

新会社設立

障がいを持つ社員が通っている病院へ、事情報告に訪ねました。そこで「石内さん、就業支援事業A型という制度があるよ」という話を聞きました。障がい者総合支援法から定められた単位に従って利用サービスの報酬が受け取れるのです。石内さんは薬にもすがらないで、その話に飛びつきました。福祉業界のことなど何も知らない身でしたが、残された時間、必死に勉強し資格を取りに行きました。

「自分で進んで入った業界ではないんです。切羽詰まった状況だったんです。平成24年2月、(株)レイオプホープは立ち上がりました。「弟が介護の資格を取得しており、何かと役に立つだろうと説得して入社してもらいました」。

社名は『希望の光』という意味です。社会や障がいを持つ方々に希望の光を……との願いを込めています。「今に

自立とは、「夢を持ち、挑戦し続ける」こと。

いたのです。実は母親にはいろいろ話をしていたことが後になってわかりました。さすがに石内さんもショックを受けました。「これは自分が悪い」と深く反省しきりです。

そんな折り、同友会で支部長を受けてくれという話が舞い込んできました。一番厳しい状況だと断っていました。先輩支部長の樋口康治さん(株)アイルから「俺もそうだった」の一言で受けることにしました。

笑顔がある会社

弟がいなくなり、社内の改革に乗り出します。利用者の方の話を、これまで以上によく聞くことに徹しました。こちらから指示することは簡単ですが、あくまでも本人の自主性を重んじ、どうしたいのかを確認するようになりました。障がいを持った人たちの集まりなので、根気のいる仕事です。改善の階段を一步步上り始めました。障がいを持った人の話をよく聞くということは、スタッフにも共通する大事な姿勢だということに気づきました。

なって考えると、自分自身も職がなくなり路頭に迷いそうになっていたところでした。そこへ一条の光が差し込んだのかもしれないと苦笑します。石内さんは、利用者を募ることに尽力しました。苦労はしましたが、3年ほどで軌道に乗ってきました。



利用者さんが書いた目標

収益の柱を作る

石内さんは、さらに安定した会社経営を目指すため、清掃業を始めます。収益の柱の一部を障がいを持つ方に働いていただくという仕組みです。

「当社では、利用契約と雇用契約があるんです」と説明してくれました。

現在、障がいを持つ方は10名在籍しています。障がいには、知的・精神・身体などがあり、一人ひとりがどういう状況にあるのかを丁寧にヒアリングしていきます。情緒が安定せず急に会社を来ないこともあります。季節や薬などの関係もあります。

「それが病気ののだと理解しなければなりません」。

「ここで作業・訓練して一人前になり他社に行くって働く人もいれば、働くところがなく、うちで働くことを望む人もいます。業務はひとりのスタッフ(指導員)に2、3人でシフトを組んでいきます。スタッフは5名います。もう少し増えれば事業も拡大できると考えています」。

同友会との出会い

創立するにあたり、手続きを司法書士の黒木文康さん(黒木文康司法書士事務所)

した。課題としてここ数年会員が減少しています。支部運営も理念・ビジョン・方針・計画が必要と考え、10年を見越した「筑紫支部2030年ビジョン」を策定しました。

- 「よい経営者になるために」
- 「役員組織・増強」
- 「例会ブロック会づくり」
- 「会員交流・勉強会」

の4項目からできています。その理念は、平山芳光支部長(株)水城自動車)に受け継がれていきました。

「役職、特に支部長を受けたくなるような支部活動にしていきたいです。こんな私ですが、支部長を経験して、本当にいろいろな学びがあり、経営に役立っています」。

石内さん自身は、筑紫支部で新設した相談役に就き、ビジョン達成に助言をする立場になりました。

夢を持ち挑戦する社員

取材の終わりに、石内さんの考える自立型企業について伺いました。「仕事を通じて生きがいを感じることができるといい会社。経営理念を一人ひとりが共有して実現のために主体的に考えて行動する会社だと思います。そういう会

所/筑紫支部)にお願いしました。その中で「障がい者の就労についての勉強会があるよ」と誘われました。黒木さん自身もメンバーです。参加してみると、同業者の会員さんがそれぞれの課題について学んでいました。ゲスト参加をしていましたが、やがてそれが同友会のバリエーション委員会であることがわかりました。そして筑紫支部の例会に参加するようになり、経営者が自社の経営課題に真剣に取り組む姿勢を見て、それまで目先のことがばかりしか考えていなかった自分に気づき、入会を決めました。入会後「あすなる塾」経営指針作成セミナーに参加しました。策定した経営理念は次の通りです。

「私たちは誰もが自立し、地域の中で幸せに暮らしていける社会の実現に貢献します」

弟の退社

令和3年に入り順調に推移していた頃、福祉サービス担当の弟が退職を申し出てきました。「兄ちゃんとは、やっつけられない……兄ちゃん怖い」。

「弟とは方針を共有できていると思っていました」と石内さんは言います。しかし体育会系のノリで厳しくあたって

社にすることが私の仕事ですね。石内さんの何事にも挑んでいく気持ちを感じました。前述した経営理念の説明として、自立とは「夢を持ち、挑戦し続ける」とあり

ました。そこに希望の光が差ししてくることでしょう。取材協力ありがとうございます。



株式会社レイオプホープ

創業 2011年10月
住所 筑紫野市築3-10-7
電話 092-923-3732
従業員数 16名(内パート・スタッフ6名)
事業概要 障害者自立支援法に基づく障害者福祉サービス。就労継続支援A型事業。



開催したイベントの写真

筑紫支部2030年ビジョン

令和3〜4年度、筑紫支部長を務めま

副島 勲氏
 (一社)ヒューマンハーバー
 なんとく塾 南支部9代支部長

同友会へお誘いして下さった方は、もうお亡くなりになりましたが、「副島さん、かたほうべんた(片類)だけでも人を知りなさい。かたほうべんただけでも人を知れば、後でお邪魔できるじゃないですか。人脈は金脈ですよ」と仰って、忘年会に上手に誘われ、その日に入会を決定した次第です。

一番印象的なのは志賀島で開催された「経営計画セミナー」です。これは本当に勉強になりました。その時に同じ8期生の矢頭宣男さん(当時福博支部)との出会いがありました。

私は「人生二毛作」という気持ちがあり、68歳の時に新しい会社を立ち上げようという思いに駆られました。

不動産事業の傍ら、保護司をしており、「再犯」という問題がどうしても私の



頭から離れませんでした。仕事をお世話しても長続きしない、すぐ辞めてしまおう。そういう方のために自分で会社を興そうということで、「ヒューマンハーバー」という会社を創りました。南支部の皆さんには大変お世話になりました。南支部から株式会社ヒューマンハーバーはできた、という思いが強いです。

罪を犯した人たちに働く場所の提供、泊まる場所を提供する。そして何が足りないかといえば、教育が足りません。それで教育の場を作ってきました。本人たちの頑なな思い込みを、どうすれば変えることができるのかを研究し、特許の申請をしました。そうしたら特許が取れました。教育部門での特許は非常に珍しいというお声もいただきました。「心のスポンジづくり」というプログラムで、商標登録をしました。しかし、特許を取るにはハードルがあります。第1段階、第2段階、第3段階と段階を乗り越えるたびに、これ以上続けて申請しますか?と。その度にお金がかかってきます。そこで諦める会社が多いのですが、私は最後までやろうと思いましたが、それでダメなら中洲で飲んだと思うことにしました。そして最終段階が知的財産権ということになりました。小さな会社が大きな会社に勝つためには皆さんも自分の可能性に挑戦してみてください。

頑なな心を柔らかくするのが「心のスポンジづくり」プログラムということ

南支部すばるクラブ9月交流会

テーマ:「南支部と私」 報告:水上 徹也(株式会社シアターネットプロジェクト/南支部)

報告者と懇談後の会場で記念撮影

日時 2023年9月7日(木)18:30~ 会場 Dress Wedding and Party



特許証 商標登録証

副島 勲氏
 (株)テシマ 南支部12代支部長
 つまずいた人生航路「すばるクラブ」創設者

同友会の紹介者は同級生の副島勲君です。当時は私も地下足袋を履いて現場で一生涯懸命働いていました。そして副島君が「社員がかわいそうやね」「なんで?」「ちっとは経営者としての勉強をせんかい」と。それから同友会に入りました。

私は南支部の支部長をする前に、「つまずいた人生航路」会長として、竜門神社の杉小屋で雨の降る中、中山さんにシートの雨がかららないようにして、挨拶していただいた思い出があります。当時50人くらいの人が集まった盛況な会でした。ミステリーコンサートなど、楽しいひと時でした。

1999年、「うちは、もうだめばい」業績が悪化して、赤字が二期続きました。その時に、再生プロジェクトを、南支



南支部すばるクラブ

南支部すばるクラブは2017年に発足しました。ベテラン会員の交流の場として、日頃の活動では出会えない方たちも参加しやすい集まりを、コンサートや忘年会、落語会という形で年に数回企画しています。「宝満山のヒキガエル講演会とバーベキュー懇親会」など、魅力的な活動を行っています。

これからも「南支部すばるクラブ」は、交流を深めて、同友会の魅力を会員の皆さんと共有していきます。

今回、南支部の財産でもある、現役レジェンド会員に、「若い世代の会員に伝えたい思いを話して欲しい」と、3人のベテラン会員のリレートーク「南支部と私」を開催しました。

会歴40年を迎えた副島さん。南支部すばるクラブの創設から代表世話人を務めて来られた白石さん。中同協の幹事長として、全国で活躍している中山さん。以上3人の報告をご紹介します。



新内 一秋氏
 元代表理事による謝辞と総括

南支部すばるクラブ
 プロジェクトリーダー
 水上 徹也 氏
 (株)シアターネットプロジェクト

2023年度 広報情報化交流会のお知らせ

**同友会の広報を通して
自社の広報を考える**
【テーマ】

基調報告 **宇佐見 孝氏**

宇佐見合板株式会社 代表取締役
(中同協広報委員長/愛知同友会)



日時 2024年
2月10日[土] 13:30~17:50

会場 **コムシティ大会議室**
(北九州市八幡西区黒崎3-15-3 TEL:093-642-1441)

担当 **広報情報委員会**

2023年度 **第6回**
理事会だより

開催日時 2023年10月25日(水) 14時35分~17時10分
会場 振興センタービル401会議室
出席数 31名(出席率77%) 議長 小屋根 雄作(理事)

○**会員増強**

入会26名、退会29名(うち未収退会1名)、休会2名、
移籍2名が承認された。10月会員数は2,291名。

○**半期のまとめ**

共有し協議を行った。

○**来年の経営者フォーラム**

来年10月に、5~6分科会、5~600名規模で開催する
ことを承認した。

○**総務財政室より**

① **活動費の収支報告**

第2四半期が終了し、収支報告が行われた。

② **インボイス制度について**

福岡同友会は収益事業、委託事業はしていない免税事
業者である為インボイス事業者登録はしない旨、会内に
て通知書を出すことにした。入会金や会費、勉強会の参
加費は不課税とする取り扱いについて、周知をしたい。

③ **フレンドシップフェスティバル入札について**

物価高の影響を受け設営費が100万円を超えると予想
される為、総務財政室に設営事業者の入札実施の申し
出があった。入札規定に従って入札を行う。

○**役員選考委員会**

来期支部長交代の支部は12月の理事会で承認する為
11月末までに各支部から推薦書を提出すること。また
県役員(委員長、部会長)も理事会での承認が必要。

○**会員企業の動き**

■ **経営革新計画承認企業**

2023年9月(県24件/うち同友会会員企業1件)
わかば不動産(株) 占部 亜紀子さん(中央支部)
<テーマ> ペットと一緒に住みたい人を応援、
ペット好きが集まるお店づくり
※累計で福岡県全体では9,556件、会員企業は延べ557件。

★理事会議事録の詳細はe.doyuの「文書管理」にある「理事会議事録」にてご覧ください。

部の仲間たちが立ち上げてくれました。社外重役制度を設置し、社外重役として、仲間たちに協力していただきまし
た。月次決算しながら、「よく2年間も付
き合ってくれた」と頭が下がる思いでし
た。「あなたが意識改革せないかん」**「達成しない数字は書きなさんな」**など、2
年間様々なアドバイスを受けながら学
ばせていただきました。会社も1年、2
年経つと、社長としての方針、ビジョン
をきっちり社員に話していかないと、
「俺についてこい」では、なかなか社員は
動きません。おかげで今は、当時同友会
で頑張っていた同友会職員も、弊社に入
社しました。「いっぱい会社がある中で、
なんでうちに来たことや?」といったなが
ら、彼も15年間弊社で頑張っています。
下請け体質から抜け出せなかったのが、
ひとつの原因でした。同友会のいう
自立型企業、といっても100%自立型
はできませんから、今現在7..3くらい
でしょうか。下請けが3。建設業は非常
に厳しいです。厳しい中でもそれぞれ
が、営業マンになって頑張っています。
2003年に中小企業家同友会全国
協議会の定時総会が福岡であり、第三分
科会を担当しました。
1年がかりで立ち上げ、シーホークで
報告をしました。「新たな挑戦、会員定着
対策について」ということで、分科会に
は80名近くの方に参加していただき、学

びを全国各地に持ち帰っていかれまし
た。最高に思い出深いものでした。
私から見ればお2人は大先輩です。
私が入会した時の支部長が白石さん。
そのころ「ここほれワンワンシート」経
営指針書を一枚のシートに、こうし
てまとめるんだ」というのを始めたの
が副島さんです。ワンシート学校がで
きて、私は第一期生です。副島さんには
ずいぶん叱咤激励いただきました。
会社を創ってすぐ、紹介者なしで同
友会に入会しました。今考えると、全国
を代表するくらい、あたたかい南支部
だと僕は思っています。
私は麻生太郎さんの会社で働いてい
ましたが、自分でテレマーケティング、



中山 英敬氏
(株)ヒューマンライフ
南支部16代支部長 中同協幹事長

コールセンターの事業計画を書きまし
たが、毎月赤字で3年で事業撤退しまし
た。「いつになったら収益が出るんだ」と
経営陣がシミュレーションして、事業と
して継続を認めず、私は納得できません
でした。「麻生がやらないのであれば、個
人でやります」と、辞表を出しました。
「麻生を辞め、個人として独立します。
3000万円くらいですが、ご融資いた
だけませんか?」とお願ひして初めて分
かりました。銀行はお金を貸すところだ
と思っていましたがお金を貸してくれ
ません。「だがもう間に合わない。どうし
ようかな」。8つのカード会社に申し込
んで全部通りました。あとで色々な人か
ら無謀すぎると叱られました。使い切つ
たら不安のどん底、自転車操業でした。
また、サラリーマン時代の先輩たちにも
お願ひしましたが、売り上げを伸ばすた
めには先にお金がいるため、それでもな
お苦しかったです。
その経験から、ちゃんとした経営者に
なりたいたいと思い、同友会に入りました。
皆さん優しい先輩ばかりで、本当に元氣
をいただきました。

広報委員長で、県の広報委員会に参加
していたので、「月刊同友」の表紙の写真を
担当していました。みんな表紙を飾りた
いので盛り上がりがありました。
一番きつかった時、落ち込んでいてもみ
んなが集まってくれないから同友会の会
議ではカラ元氣を出していました。する
と、いつも誰かが、「あんたいつも元氣や
な」と言ってくれていました。カラ元氣が
本当の元氣のようになりました。
2005年、支部長の時に会社が軌道
に乗り、本業はつたらかして新規事業の
立ち上げに没頭していました。それが2
年間で一気に崩れました。取引を切られ
ることを覚悟で、クライアントへ謝罪に
行きました。副支部長みんなが「中山さ
んなら大丈夫、絶対乗り越えることがで
きるよ」と言葉をかけてくれました。そ
れが本当に元氣の源になって今があり
ます。
仲間の関係、絆、優しい思いやりだと
か、みんなそれぞれ大変な時、誰かが
困っていたら、「大丈夫?」や、「何か手伝
うことない?」というような雰囲気にと
てもあると感じています。
福岡同友会への恩返しで、南支部のよ
うな支部を田川で作りたいという思い
から、田川支部を6年前に立ち上げまし
た。田川支部は今「目指せ南支部」と若い
人たちが頑張っています。交流しながら
育てていただければと思います。

12月行事案内

EVENT SCHEDULE

お申し込み、お問い合わせは、e.doyu もしくは、同友会事務局までお願いします。
お知り合いの方を誘って、是非ご参加ください。

1 金 18:30~21:00

中央支部
12月例会

望年会だヨ!全員集合
『心ある黒字企業』に向かってカンパイ

■ エクセルホテル東急 福岡市博多区中洲4-6-7 ☎092-262-0109

2 土 19:00~21:00

かすや支部
12月例会

2023年総決算!今年1年を振り返ろう!

■ うえずたん 柚須駅前店
糟屋郡粕屋町大字柚須字石橋126-2 ☎092-611-0038

7 木 18:30~20:30

飯塚支部
12月例会

忘年会

■ 居酒屋 文月 飯塚市南尾400-2 ☎0948-22-6766

7 木 18:30~20:30

国際交流委員会
12月度勉強会

留学生と企業の交流サロン2023

■ 天神スカイホール 西日本新聞会館16階
福岡市中央区天神1-4-1 ☎092-712-8855

8 金 18:30~20:30

糸島支部
12月例会

入~浴に行きたいか?
同友会で整う大忘年会

■ 伊都の湯どころ 糸島市泊765 元気くらぶ内 ☎092-331-1000

9 土 18:30~20:30

のおがた支部
12月例会

望年会

本気になって何が悪い!

■ ライジング迎賓館 直方市古町17-14 ☎0949-22-3313

13 水 18:00~20:00

FAST
12月例会

新現役マッチング説明会

■ 天神チクモビル 小ホール
福岡市中央区天神3-10-27 ☎092-715-3250

14 木 18:30~21:00

ひびき支部
12月例会

会員表彰例会
同友会に入ってよかったと思える仲間を増やそう

■ ザハウス オブ リンドマール
北九州市八幡西区東神原町2-23 ☎093-642-3659

14 木 15:30~17:35

りょうちく支部
12月例会

地域を繋ぐキャリア教育
高校と地元中小企業の新たな連携

■ るり色ふるさと館 2階 研修室5
うきは市吉井町983-1 ☎0943-75-3343
■ 檜原 憲一氏
株式会社カラーリングファーム 代表取締役(りょうちく支部)

15 金 18:30~20:30

久留米支部
12月例会

望年会

■ 魚よし
久留米市日吉町25-2 ☎0942-34-4285

19 火 19:00~21:00

博多支部
12月例会

望年例会

温泉の癒し

■ 万葉の湯 博多館
福岡市博多区豊2-3-66 ☎092-452-4126

19 火 18:30~20:40

福友愛・福友和支部
12月合同例会

これまでも、これからも

■ 八仙閣本店 福岡市博多区博多駅東2-7-27 ☎092-411-8000

19 火 18:30~22:00

玄海支部
12月例会

玄海の仲間を知る会

■ THE LIVELY 福岡博多
福岡市博多区中洲5-2-18 ☎050-3138-2071

19 火 18:30~21:00

北九州支部
12月例会

北九州支部 大望年会

■ ザハウス オブ リンドマール
北九州市八幡西区東神原町2-23 ☎093-642-3659

19 火 18:30~20:30

大牟田支部
12月例会

あなたの会社は何屋さんですか?

■ AUREA
大牟田市有明町1-1-22 ☎0944-32-9767
■ 田村 志朗氏 株式会社梓書院 代表取締役社長(博多支部)

20 水 18:30~21:00

西支部
12月例会

西支部クリスマス例会

■ 福岡 天神モノリス
福岡市中央区長浜1-1-12 ☎092-717-8866

20 水 18:00~21:00

東支部
12月例会

今年もお疲れ様でした。
清々しい2024年を迎えましょう。

■ 宮前迎賓館 灯明殿
福岡市博多区上川端町1-35 ☎092-710-4305

20 水 18:30~20:30

田川支部
12月例会

望年会

■ 中華料理 華扇 田川市番田町7-3 ☎0947-44-6894

20 水 19:00~21:00

有明支部
12月例会

望年例会

■ 福湯すし別館 大川市大字三丸1755-2 ☎0944-89-6080

21 木 18:00~21:00

福博支部
12月例会

仲間づくり交流会&忘年例会

■ ピエトロ・セントラール
福岡市中央区天神3-4-5 ピエトロビル1F ☎092-715-8281

21 木 19:00~21:00

青年支部
12月例会

2023年最高だったかい?
クリスマスと忘年会をがっちゃんこ!クリボーしようぜ!

■ 高宮庭園茶寮 福岡市南区高宮5-16-1 ☎092-710-1367

21 木 19:00~21:00

筑紫支部
12月例会

同友会筑紫支部望年会

■ 一品香 雑餉隈店
福岡市博多区竹丘町2-3-9 ☎092-501-7878

26 火 18:00~21:00

南支部
12月例会

酒と友情の力
~福田支部長方針に経営指針書100%へ挑戦の一杯~

■ 宮前迎賓館 灯明殿
福岡市博多区上川端町1-35 ☎092-710-4305





会員 Pick up!

梅林に新たなランドマーク 地域振興の取り組み

写真・文章 / 未来文書株式会社 南史聡(西支部)



地元の寺に描いたゲルニカのおマージュ



環状線沿いに描かれた油山の壁画

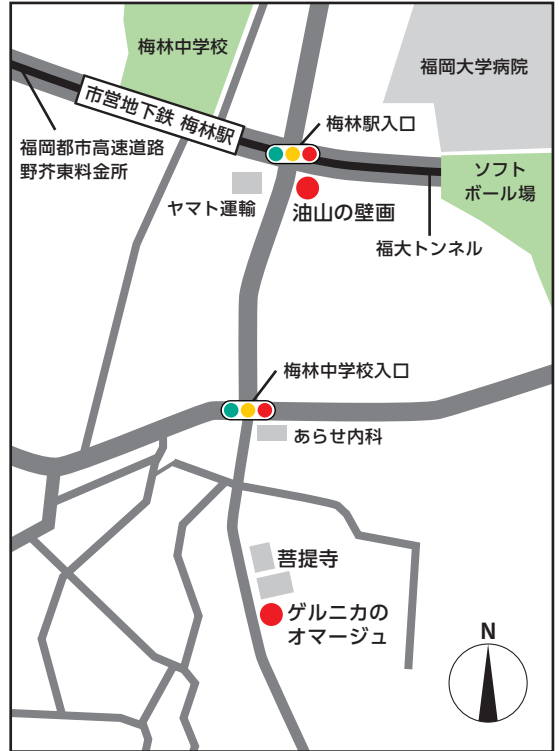
壁画を制作する大学生



福岡市城南区梅林では、梅香るプロジェクトという地域団体があり、当社もお手伝いとして関わっています。梅林という地名にもとづいて梅の植樹から始まり、草刈りや毎年
の梅見会などの活動を行っています。

2018年に落書きだらけだった壁を、地元の中学校や企業の協力で油山のウォールアートにしたことが福岡市の都市景観賞に選ばれ、2023年には地元のお寺に準備していただいた5×10mの壁にパブロ・ピカソのゲルニカのおマージュ作品を描きました。

大学、中学、地元住民の協力で実現したウォールアート作品をぜひ見に来てください。



あなたの記事でこのコーナーを飾りませんか?

みなさんの投稿をお待ちしています。

- | | | | | | |
|-------------|--|------------|------------------------------------|------------|--|
| 投稿方法 | 郵送、メールいずれも可。
表題に「月刊同友 会員からの投稿」とご記載ください。 | テーマ | 環境問題や、社会貢献、例会の様子、地域イベントなど、内容は自由です。 | 送付先 | 郵送 / 下記「月刊同友」編集部まで
メール / a_arima@fukuoka.doyu.jp
(福岡同友会事務局 有馬まで) |
|-------------|--|------------|------------------------------------|------------|--|

一般社団法人 福岡県中小企業家同友会「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号 福岡県中小企業振興センタービル11階
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

[北九州地区センター]

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39
クルーズ浅野ビル 808号
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

[県南地区センター]

〒830-0038 久留米市西町1367-1
祥栄ビル2階
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366



今月の「月刊同友」はいかがでしたか?

月刊同友では、皆様からのご意見・ご要望を募集しています。よろしければQRコードからアンケートにお答えください。

約4分で回答できます 回答締切 12月31日(日)

[デザインQR]

環境を守るため森林認証紙を使用しています。